

平成22年2月22日

記者発表資料

(県政・藤沢記者クラブ同時発表)

「(仮称) いずみ野線延伸の実現に向けた検討会」の設立について
～環境配慮型公共交通システムの導入検討～

この度、神奈川県、藤沢市、慶應義塾大学、相模鉄道株式会社の4者は、来年度より「(仮称) いずみ野線延伸の実現に向けた検討会」を設立し、「環境共生モデル都市圏」の実現を支える新たな公共交通システムの導入について、協働して検討を進めることを決定しました。

いずみ野線延伸については、平成16年度から3年間、「いずみ野線延伸研究会」において、湘南台駅からツインシティまでの区間について研究しており、今回、この結果を踏まえて、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近までの区間について、第一期として実現に向けた検討を行います。

検討会では、導入の際の課題やその解決方法を検討した上で、地域に適した交通システムを選定し、具体的な検討を進めます。

また、環境共生モデル都市圏のシンボルとなる環境に配慮した公共交通システムの導入を目指すとともに、それにふさわしい沿線地域のまちづくりのあり方についても検討します。

- 1 名称：(仮称) いずみ野線延伸の実現に向けた検討会
- 2 検討路線：湘南台駅～ 慶應義塾大学 (～ツインシティ)・・・次頁参照
湘南藤沢キャンパス
- 3 検討内容：導入するシステム(鉄道、LRT)

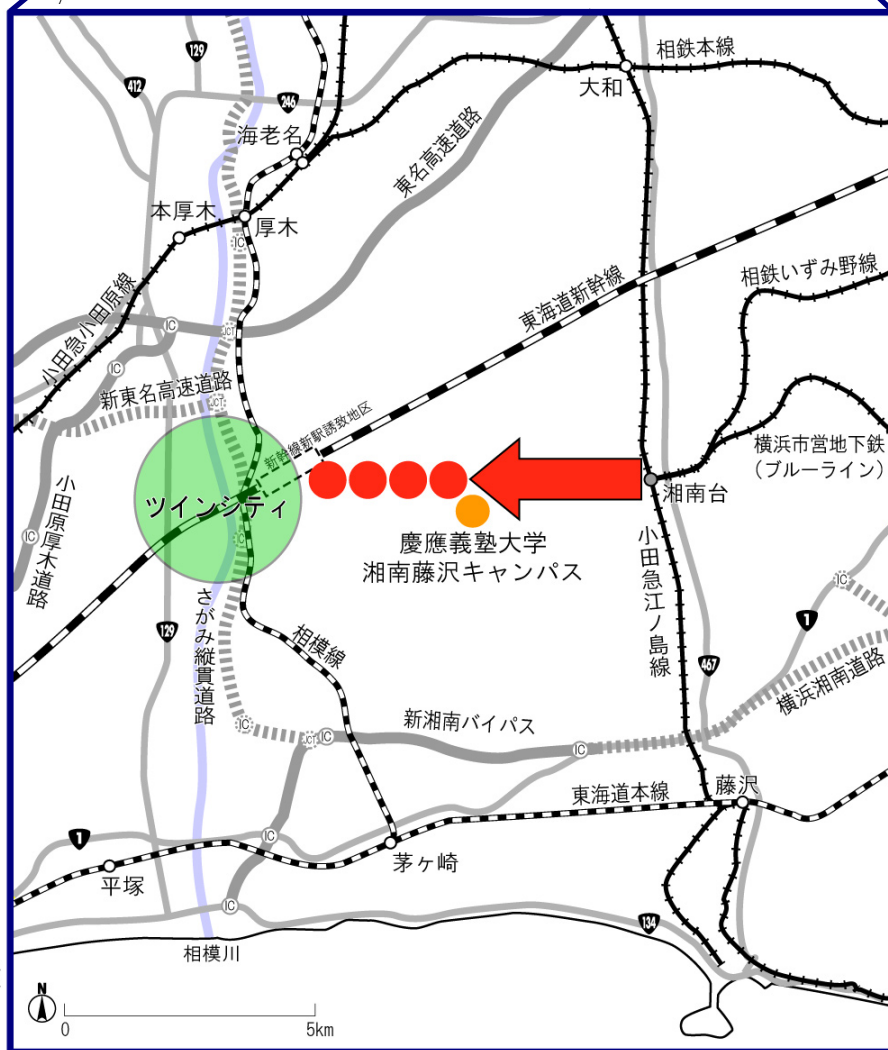
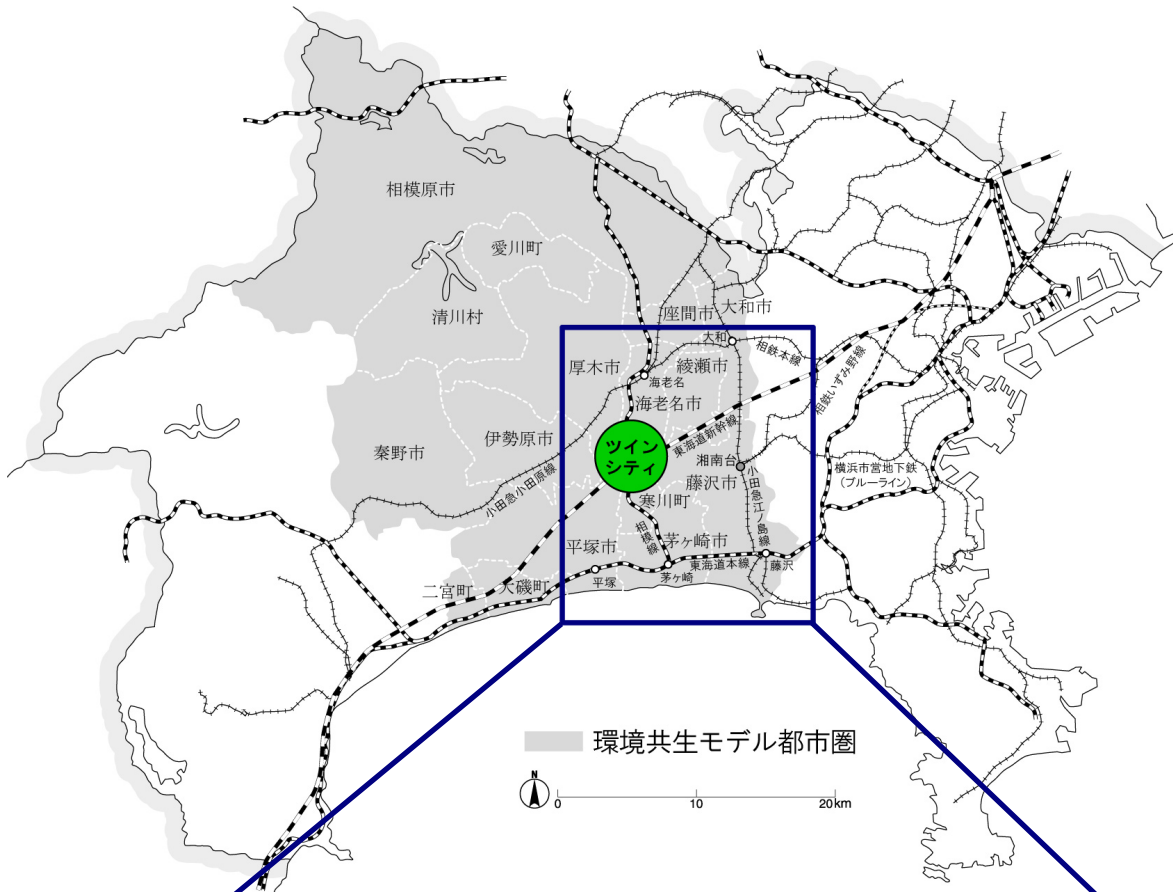
問い合わせ先

神奈川県県土整備部

環境共生都市整備担当課長 小林 電話 045-210-6031

神奈川県県土整備部県土整備総務課

新幹線新駅設置推進担当 前田 電話 045-210-6038



凡例

- 新幹線
- JR線
- 私鉄等
- 自動車専用道
- (事業中)
- 国道

図 対象路線

環境配慮型公共交通システムの導入

<背景>

県では、県央・湘南地域を「環境共生モデル都市圏」とし、都市間相互が連携し、機能を補うことにより、質の高い生活や新たな産業を創造するネットワーク型都市圏の形成と、都市圏の豊かな自然環境を生かした環境負荷の少ない都市づくりによる、環境と共生する都市圏の形成を目指しています。

地域の方々からも、東海道新幹線新駅の誘致により、全国との交流・連携を図るとともに、都市間相互を結ぶ交通ネットワークの形成が望まれています。

<めざすすがた>

今回、いずみ野線延伸を検討する地域は、現在、既存の鉄道を利用しづらい地域であり、ここに、新たな公共交通システムを導入することにより、交通の利便性の確保はもとより、地域の連携が強化され、また、自動車交通からの転換も促進されることで、環境への負荷の低減も見込まれます。

さらに、これを環境配慮型公共交通システムで実現するとともに、沿線地域でもこれと相まったまちづくりを目指すことで、環境共生モデル都市圏の新たなシンボルとなることも期待されます。

4者協働による検討の考え方

環境配慮型の公共交通システムを実現するためには、「最先端の研究成果」や、「鉄道事業者としての知識や経験」を結集させるとともに、「沿線地域のまちづくり」についても検討する必要があります。

そのため、神奈川県、藤沢市、慶應義塾大学、相模鉄道株の4者は、それぞれの得意分野を生かした産学官の協働により、いずみ野線延伸の実現を目指して検討を行うこととしました。

4者協働のイメージ

